

各事例の詳細について

平成 22 年 5 月 20 日
農 林 水 産 省

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	検査結果 陽性 (20日判明)
147	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	55頭 (繁殖牛25頭 育成牛5頭 子牛25頭)	117例目の農場から北約600m	・5月17日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日立ち入り、3頭の口内にびらん等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭
148	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	7頭 (繁殖牛4頭 子牛3頭)	14例目の農場から南約200m	・5月17日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛の口内に水泡等を確認したと届出 ・同日立ち入り、1頭に流涎等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
149	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	42頭 (繁殖牛21頭 育成牛3頭 子牛18頭)	93例目の農場から北約100m	・5月17日、獣医師から宮崎県に対し、飼養牛3頭に発熱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭
150	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	64頭 (繁殖牛37頭 育成牛2頭 子牛25頭)	17例目の農場から南約100m	・5月17日、農協職員から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、2頭に流涎等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付	2頭
151	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	49頭 (繁殖牛46頭 子牛3頭)	87例目の農場から北東約100m	・5月18日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、5頭に流涎・水泡等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	5頭
152	児湯郡川南町	肉用牛繁殖	38頭 (繁殖牛21頭 子牛17頭)	123例目の農場から西約100m	・5月18日、獣医師から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、2頭に流涎・びらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
153	児湯郡都農町	肉用牛繁殖	6頭 (繁殖牛4頭 子牛2頭)	136例目の農場から北約5km	・5月18日、町役場職員から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
154	児湯郡都農町	肉用牛繁殖	16頭 (繁殖牛8頭 子牛8頭)	108例目の農場から東約1km	・5月18日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、2頭に流涎・びらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭
155	児湯郡川南町	養豚	2,623頭 (繁殖豚214頭 育成豚10頭 子豚2,398頭 種雄豚1頭)	107例目の農場から南約300m	・5月19日、農場主から宮崎県に対し、飼養豚に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭の蹄にびらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭
156	児湯郡川南町	養豚	307頭 (繁殖豚45頭 育成豚3頭 子豚254頭 種雄豚5頭)	103例目の農場から南西約100m	・5月19日、獣医師から宮崎県に対し、飼養豚1頭の起立不能を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭の蹄にびらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	1頭
157	児湯郡高鍋町	肉用牛肥育	589頭 (黒毛和種121頭 交雑種240頭 乳用種228頭)	143例目の農場から西約200m	・5月19日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付	3頭

番号	確認場所	経営状態	飼育頭数	位置	経過等	検査結果 陽性 (20日判明)
158	児湯郡 高鍋町	肉用牛肥育	1,050頭 (乳用牛200頭 交雑種850頭)	143例目の 農場から 東約200m	<ul style="list-style-type: none"> ・5月19日、獣医師から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、2頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 	2頭
159	児湯郡 川南町	養豚	146頭 (繁殖豚21頭 子豚123頭 種雄豚2頭)	135例目の 農場から 北約450m	<ul style="list-style-type: none"> ・5月19日、獣医師から宮崎県に対し、飼養豚の鼻に水疱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭の鼻に水疱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付 	1頭